

＊ ライフアップ ＊
仲間たち

マンデイ・ナイツ(アカペラ男声コーラス)



月曜夜に集まるから、この名前かと思いきや、ナイツはKnights(騎士)なのだそうだ。「コーラスにのみり込み、女房にもあきれ返られている月曜日の騎士たちなんです」と代表の安川護さん。

バーバーコーラスというスタイルで歌う。これは19世紀のアメリカで生まれた男声四重唱で、無伴奏(アカペラ)が基本。トップ(テナー)、セカンド(テナー)、バリトン、ベースの4部編成で、セカンドがメロディーを歌うことが多い。禁酒令下、バーがダメならと理髪店(バーバー)が社交の場となり、そこで生まれた音楽とされるが、真偽は不明だ。

「我々は市川男声合唱団に所属していて、この各パートリーダーが、合唱曲以外の曲、ジャズなども歌いたいということで結成しました。その後希望者が増え、現在に至っています」とリーダーの田中保雄さん。

ジャズや黒人霊歌など、英語の曲が中心だが、コンサートでは日本語

三度の飯より歌が好き

の耳馴染みのある曲も取り入れる。数年前、縁あって、さたまさしさんのコンサートでバックコーラスを務めたことも、メンバーの誇りになっているようだ。

ほとんどが、学生時代から合唱に打ち込んできた人たちが、僕は合唱経験ゼロで飛び込みました。譜面も読めませんが、皆さんのおかげで今では自称、黄金のベース3人組の一人と言われるまでに」と笑わせる渡辺隆雄さん。

バーバーショップコーラスの肝となるリズム感、粋なハーモニーは、日本人には馴染みの薄いものだし、アカペラ、指揮者なしで、慮もテンポの緩急を崩さず、リズムを合わせるのは相当難しそうだが、それだけに「ピタッと合った時の爽快感は格別」とのこと。

メンバー同士でゴルフに行っても、グリーン上で歌い出したり、飲み会の店で美声を披露し、拍手喝さいを浴びたり、歌好きを物語るエピソードに事欠かない。「第2の青春を謳歌しています」との中島槍行さんの言葉とおり、若々しい70代、80代のおじさま方だった。

メンバーは稲田道憲、田中保雄、中島槍行、柳田豊司、奥山尊逸、辻克彦、横手弘行、杉浦保友、安川護、渡辺隆雄のみなさん。問い合わせは☎043(2330)2115安川護さんまで。(活動は毎月曜日午後7時～9時 静蔵公民館)

